

学校関係者評価報告書(平成 29 年度)

評価項目	評価 (コメント)
<p>基準 1 教育理念・目的 ・ 育成人材像</p>	<p>① 3つのポリシー、非常に共感できる。ぜひ、その実現に努力していただきたい。 ② 3つのポリシーが明確で評価できる。 ③ 良いと思う。 ④ 近年大学も含め 3つのポリシーの明示が強く求められ、高校の進路指導の場でも学校選びの際に教育理念・求める学生像・教育内容の重視・検討が強調されている。創立 40 年以上の歴史の中で、高い倫理観のもと利用者の生活創造に貢献する人材を送り出してきた貴学院の理念と実績は、今後とも是非堅持して頂きたい同時に、高校側へもより強くアピールされるべきと思う。入学を許可される生徒の学力・資質の問題は本人の将来の為にも大きい。入学前課題も含め高校での履修や学習に関しても、将来の国試合格に向けて高校側にできることがあれば生徒の為に連携・協力させて頂きたい。 ⑤ 総括コメントで、策定途中から全職員に開示し意見を求めていたようですので、原案で良いかと思います。 ⑥ 「予防リハビリ」や「介護職との連携」等、理学療法士や作業療法士に対する社会的な期待がふくらむ昨今、教育理念にあるより高い人間性と社会性を持ったセラピストがますます求められています。当学院は、従来より学生や卒業生の質に対して高い評価を得ていますが、より一層の強化を図るために、学外の方々の方々に協力を求めると共に地域社会に展開して頂くことを期待いたします。 ⑦ 理念等を達成するため、地域社会との連携、交流をより一層深めていただくことを期待する。</p>
<p>基準 2 学校運営</p>	<p>① 運営の効率化の具体策が今一つピンとこない。 ② 良いと思う。 ③ 専門学校の変革期にあたり、乗り越えるべき諸課題も多いことと思うが、入学生確保の為の多様な学科・コース拡大のような方向に流れることなく、専門性に基づく人材育成に注力される貴学院の運営姿勢に、高校側からの評価は高い。理念に沿った運営方針のご確認のもと、新しい挑戦とこれまでの良さを保持して頂きたい。夜間部の健全な定員確保のご努力の成果は素晴らしいと思う。情報システムの充実が、学生指導にとって効果的な活用環境となると同時に業務軽減にも活かされればと思う。 ④ 理念に沿った運営を守りつつ、ニーズに合った教育を柔軟に行えると良いかと思う。人事評価制度の仕組みと内容と結果を報告してもらいたい。 ⑤ 時代の変化に対応できる学校運営を行う為には、幹部職員や一般職員が共通認識を持ち、一丸となって取り組める組織体制が必要です。職員間のコミュニケーションを更に深めることによって、歴史と実績に裏打ちされ、かつ時代に合った運営体制を構築してください。 ⑥ 引き続き透明性の確保及び安定的な運営に資する取り組みを推進していただきたい。</p>
<p>基準 3 教育活動</p>	<p>① (学生の授業へのモチベーションを高める為にも) 引き続き、魅力的な非常勤講師の確保をして頂きたい。 ② 最低基準より行っている教育内容がわからない。 ③ 良いと思う。 ④ 厚生労働省の基準を上回る教育内容を設定されており、臨床実習前後の指導が手厚いと感じるが、実習先での強い指導のトラブルは今後一層慎重な対応が必要かと思う。生徒が心身に負荷を感じる強い指導については、高校でも厳に戒められ度々現状点検の指導がなされている。国家試験合格率の一層の向上と、不合格者への引き続いてのご指導は今後とも期待している。</p>

	<p>⑤最低基準を上回る時間数と内容を実施しており、秀でた教育環境と思われる。しかし、昨今の学生の学力低下や学習障害傾向の者に対しては、そのことが負担とならないように配慮してほしい。つまり、多くすればよいという時代ではなくなっているようにも思われる。逆に、ミニマムな教育という新たな視点でも考えてみては如何か？</p> <p>⑥社会的なニーズに厚労省の指導要領が追いついていないように感じます。医療や福祉、地域社会に求められる、理学療法士や作業療法士の育成の為に、今後とも教育課程編成委員会を初め様々な方々のご意見に耳を傾けると共に、各制度や社会動向を見ながら教育内容の検討を行って下さい。</p> <p>⑦卒業生アンケートでは回答率は低いものの、充実した指導体制をはじめ職員の方々が親身に学生と接していることがうかがえる。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>①とくになし</p> <p>②良いと思う。</p> <p>③入学生の学力変化の要因も大きい中、国家試験合格率は善戦されていると思う。長い伝統の中で卒業生の方の活躍も幅広く、求人については安定していると同っている。将来への憧れが学習成果を引き上げる可能性は大きいので、思い描いた将来の路に向かって、引き続きご指導をお願いしたい。就職先で部門責任者等の活躍をされる卒業生の実態把握の結果や学修成果を高校のみならず、教育委員会等にも伝えられるような成果発表の場を考えられないだろうか。知ってもらうことで評価が変わり、入学生が変わる余地はまだあるように思う。</p> <p>④国家試験の合格率や就職率など問題ないと思われる。</p> <p>⑤少子化と学校乱立の影響などから受験生の著しい学力低下がみられ、指導されている先生方のご苦勞をご察しします。卒後研修や就職支援、キャリアアップなどについて、当同窓会も学院と密接に協力しながら実施して行きたいと考えていますので、よろしく願いいたします。</p> <p>⑥特に問題は無いと思う。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>①自ら相談室を訪れる学生だけでなく、他の学生にも必要な支援が届くよう配慮を期待します。</p> <p>②とくになし</p> <p>③5.18.2 5.19.3 評価1があるが、現状では仕方がないと思う。</p> <p>④都立高校の無償化が進んでから、以前以上に学費の相談が増えている。奨学金の開拓努力はその点とてもありがたい。進学か就職か選択しなければならない高2の3月から高3進級前の時期にご案内頂けると効果的。学費分納制度や授業料以外の費用の問い合わせも多い。臨床実習費用については同分野の大学も含め宿泊費等の負担に差が大きいので、志望校決定の大きな要素になる。夜間部のアルバイト先が学びの内容と繋がる場が多いことも広報ポイント。就職先の専門性への相談の丁寧さや卒業後のフォローも大切な学生支援だと思う。対人関係で特別な配慮を必要とする生徒は高校でも支援が手厚くなってきており、養護教諭が窓口となって進学先と連絡を取り合うこともある。高専連携の今後の課題であると思う。</p> <p>⑤メンタル面の対応は、どこの学校も悩ます問題かと思う。カウンセリングで解決できる問題以上のことを抱えている学生も多い。臨床実習中のメンタルヘルスの対応はどのような対策をしているのか知りたい。</p> <p>⑥社会経験の乏しい学生が増えていることから、すでに医療や介護、福祉の現場で働く先輩方と交流や、ボランティア、地域活動等に参加することによって、より具体的な将来の夢やイメージを持てるようになり、社会に出る不安が軽減できると思います。</p> <p>卒業生への支援体制については前述のとおり、同窓会も今まで以上にしっかりした連携体制を作って行きたいと思います。</p> <p>⑦中途退学者の低減に向けて更なる支援体制の強化を期待したい。</p>

<p>基準6 教育環境</p>	<p>①（実習以外の学生生活や）授業の中で、障害のある人と接する機会はどのくらいあるのでしょうか？</p> <p>②教育環境は経年的に改善されている。</p> <p>③良いと思う。</p> <p>④放課後に主体的に学ぶ貴学院学生の姿に感銘を受けることが多く、また臨床実習後の成長ぶりもよく伺うが、先生方の丁寧なご指導あればこそ思う。卒業後すぐ専門職として現場に立つため、日々専門知識・技術の習得を積み上げねばならない学生にとって、専門図書の充実や放課後の主体的学習に対する教材貸出等については、利用環境について大学等でも苦情を聞くことが有るが、貴学院はよく対応してもらえ環境にあると思う。学外実習先施設がすべて学院で確保されている点も大きな安心である。ITC 教材等、新しい時代の流れの中で必要になるものについては状況の確認と整備をお願いしたい。</p> <p>⑤クリニカルクラークシップへの変化の中、教員や学生への周知と研修のみならず、指導者への研修をより充実してほしい。</p> <p>⑥設備や備品、図書の整備については、今後ともご努力を期待しております。学外実習については厚労省でも様々な検討がされているようですが、実習指導者や実習機関との連携強化が重要だと思います。しっかりとした信頼関係を今後とも維持することによって、より充実した実習となるようにして下さい。</p> <p>⑦特に問題は無いと思う。</p>
<p>基準7 学生の募集と受入れ</p>	<p>①とくになし</p> <p>②良いと思う。</p> <p>③職業理解の場として理学・作業療法の体験は、今後ともぜひ続けてほしい。貴学院から届く FAX による実施告知に本校でも気を付けているが、各高校で進路代表とともに置かれていることが多い看護医療分野担当者と直接連絡を取れるとより良い。高校側も分野志望者を集めた個別日程のガイダンスを開催する際など担当者ベースの方が動きやすい。年度初めの挨拶交換の時期に貴学院での進学説明会への参加状況や在学状況・就職決定状況の高校側へのフィードバックと共に相互に面識を持てると良い。特に夜間部については高校生・高校教員の理解不足が大きい一方、夜間部が減少することへの高校側の危機感もあり、直接の担当者であれば情報収集への感度も高い。高校によっては、専門性が高い領域ほど生徒から言い出される志望を待つだけの傾向もあり、より一層の高校側との連携の工夫が必要である。給付型奨学金の情報提供時期は、3 年進級時のほかに志望校決定面談期である 7 月、9 月に合わせるのも効果的である。</p> <p>④少子化の中、生き残り策が非常に重要になってきている。様々な学生を受け入れ、内部教育で育てていくという懐の深さが必要になるかもしれない。</p> <p>⑤近年、学生募集に関して様々な取り組みをされているとのこと、厳しい現状ですが更なるご尽力を期待しております。</p> <p>⑥少子化を見据えての応募者の確保は喫緊の課題である。他の学校には無い個性的な PR 方法も視野に検討する必要があると思う。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>①学生募集が源泉であり、それとのリンクがはっきりとしない。</p> <p>②良いと思う。</p> <p>③借入金等の負債皆無の健全な状態と思う。さらに休日の施設利用が収入と広報に効果的に結び付くようであれば、検討されてはと思う。</p> <p>④原案通りで構いません。</p> <p>⑤先生や事務の皆様のご努力もあり、非常に頑張られていると思います。今後も安定した財務運営が出来るように、学生の確保と共に中長期計画の遂行をお願い致します。</p> <p>⑥特に問題は無いと思う。</p>

<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>①ハラスメントや法令遵守に関する教育をカリキュラムに含めている点は、高く評価したい。 ②コンプライアンス・ハラスメント対策は万全に期するにこしたことはない。 ③9.32.1 で特別調査委員会を設け原因究明とあるが、内容が解らないので何とも言えない。 ④ハラスメントや個人情報取り扱いへの対策がなされていること、学生対象のカリキュラムにも「法令遵守」の指導内容が組込まれていることは分かった。が、昨今のSNS拡大の流れは難しい状況にあり、将来の職種上からも学生への一層の教育をお願いしたい。一方「基準3」でも触れた指導場面でのハラスメントについては従来以上の配慮をお願いしたい。 ⑤東京では、実習指導者もハラスメントについて熟知してきていると思うが、地方の実習地は依然ハラスメントについての理解が弱いと思われる。そのため、東京や首都圏以外の実習地に行かせるときは注意が必要と対策である。 ⑥法令順守やハラスメント防止の為に、今後とも情報開示等によって開かれた学校を目指してください。 ⑦特に問題は無いと思う。</p>
<p>基準10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>①2020年の東京オリンピック・パラリンピックでの社会貢献を通じて、PT・OTの社会的認知が高まることを期待したい。 ②とくになし ③良いと思う。 ④本来の教育活動とのバランスが大切だが、2020年の東京パラリンピックでの活躍は期待される。高校の「人間と社会」の学習や宿泊型避難訓練、都の合同防災訓練等の場面で高校生と活動を共にすることは、高校生のキャリア教育の面からも、また貴学院の広報活動の面からも検討を続けてみたい。小学校から英語学習が始まる時代である。大学入試も英語4技能が求められる。国際化する将来の職場を考えて英会話力を身に付けられるボランティアの場などが考えられないだろうか。 ⑤東京オリンピックに向けて、貴学で可能なボランティア活動を期待したい。 ⑥小金井市の地域リハビリテーション活動支援事業にお力添え頂き、心から感謝しております。今後とも介護予防を初め、教育や研究、地域交流の拠点の場として、社会医学を普及啓発する場として頑張ってください。 ⑦高齢者の介護予防体操会場としての開放をはじめ、自治体との連携も進んでおり、更なる連携強化を期待したい。</p>
<p>その他のご意見</p>	<p>①貴院の管理運営は全般的に良いと思う。 ②景気回復で「文高理低」と言われる流れの中でも多摩地区には看護医療系志望の高校生は変わることなく多い。が、その生徒への指導にあたり、リハビリ分野の職種に対する理解が教員側に十分ではないという壁がある。貴学院が実施して下さる教員対象の職場見学会の機会はその意味でたいへん貴重であり、高校側もより強力に今後とも特に若い教員に参加奨励の動きを広げたい。毎年多くの卒業生が貴学院進学後、社会的に貢献できる力を付けて成長していく姿を見せていただけることは高校の喜びでもある。今後とも多摩地区の生徒の為に一層のご発展と連携関係をお願いしたい。 ③特に作業療法は、入学者確保が依然厳しいと思われる。協会とも連携して、具体的な結果の得られるストラテジーを考えてもらいたい。</p>